

1. 科目名（単位 数）	社会保障論（4 単位）	3. 科目番号	SBMP2105
2. 授業担当教員	若杉 英治		
4. 授業形態	講義、学生発表、グループディスカッション、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	本科目では、社会保障を構成している年金、医療、介護、雇用、労災保険を中心に、各制度の沿革にまでさかのぼり、理論的に解説する。そのことにより社会福祉の現場で働く場合に必要となる社会保障に関する専門的かつ正確な知識を体得する。 社会保障の理念や範囲、期待する社会保障の機能などは国によって異なっており、その相違が主に市場経済の構造や社会的慣行にあるとすれば、今後、わが国が豊かな社会保障を構築するためにどのような条件整備を進めていくべきかを探っていく必要がある。 シラバスに即して進行するので、学生は事前事後の家庭学習と組み合わせて、毎週確実に単元の内容を習得していくことになる。主体的自発的学習促進の観点から、授業時にはグループ討議や発表を組み入れる。		
8. 学習目標	1 社会保障制度の体系、機能について理解し、説明できるようになる。 2 社会保障給付に関する費用の使途と財源について理解し、説明できるようになる。 3 少子高齢化の状況と労働力問題について理解し、説明できるようになる。 4 社会保障制度の沿革と今後の方向性について理解し、説明できるようになる。 5 5 種類の社会保険（年金・医療・介護・雇用・労災）について理解し、説明できるようになる。		
9. アサシメント （宿題）及びレポ ート課題	1. 各回の教科書の内容について、授業までに予習していることを前提に授業を進める。 2. 授業中に、指定したテーマについてのグループ発表を行ってもらうので、その準備が必要である。 3. 授業中に、確認テストを行うとともに、最後に期末試験を行う予定である。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座 7 社会保障第 2 版』中央法規出版、2025 【参考書】 『新・社会福祉要説』『保育児童福祉要説』『教職科目要説（初等教育編・中等教育編）』。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 8 の学習目標の達成度を基準に成績評価を行う。 ○評定の方法 1.論述力の確認。期末試験、課題レポート、予復習提出分などで評価。50% 2.発表力。課題レポート内容の発表、授業中の発言の積極性などで評価。50% 上記 1 および 2 を総合判断して行う。		
12. 受講生への メッセージ	1 授業内容は一般的にレベルが高いので、常に緊張感と集中力をもって受講すること。 2 思考力、創造力、問題解決能力を高めるためにも、積極的な態度で授業に臨むこと。 3 私語は厳禁である。授業に関係ないスマートフォン等の使用もしないこと。 4 授業が始まってからは、勝手に退室しないこと。退室には必ず許可をとること。		
13. オフィスアワー	授業内で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回 第 2 回	現代社会と社会保障、人口動態の変化 経済環境の変化、労働環境の変化	事前学習	テキストの該当部分（第 1 章）を学習しておくこと。
		事後学習	社会保障には、どのような制度が含まれるかについて、説明できるようにしておくこと。
第 3 回 第 4 回	社会保障の概念と範囲、役割と意義 社会保障の理念及び対象、社会保障制度の展開	事前学習	テキストの該当部分（第 2 章）を学習しておくこと
		事後学習	社会保障の制度の仕組みについて、説明できるようにしておくこと。
第 5 回 第 6 回	社会保障の財政と給付費、内訳と動向 社会保障の国民負担率、社会保障と経済	事前学習	テキストの該当部分（第 3 章）を学習しておくこと
		事後学習	社会保障の財源と給付の仕組みについて、説明できるようにしておくこと。
第 7 回 第 8 回	保険と扶助の考え方 社会保険と社会扶助の考え方（保険の理論、補助の理論）	事前学習	テキストの該当部分（第 4 章）を学習しておくこと
		事後学習	日本の社会保険と社会扶助の仕組みについて、説明できるようにしておくこと。
第 9 回 第 10 回	医療保険制度の体系と概要 各医療保険制度の財源と保険財政	事前学習	テキストの該当部分（第 5 章）を読んでおくこと。
		事後学習	日本の医療保険制度について、説明できるようにしておくこと。
第 11 回 第 12 回	介護保険制度の沿革と概要 介護保険制度の仕組み	事前学習	テキストの該当部分（第 5 章 2 節）を学習しておくこと。
		事後学習	介護保険制度について、説明できるようにして

			おくこと。
第 13 回 第 14 回	年金制度の概要 年金制度の仕組み	事前学習	テキストの該当部分（第 5 章 3 節）を学習しておくこと。
		事後学習	年金制度の仕組みについて、説明できるようにしておくこと。
第 15 回 第 16 回	労災保険制度 雇用保険制度	事前学習	テキストの該当部分（第 5 章 4 節）を学習しておくこと。
		事後学習	労災保険制度について、説明できるようにしておくこと。
第 17 回 第 18 回	生活保護制度の概要 生活困窮者のサービスの仕組み	事前学習	テキストの該当部分（第 5 章 5 節）を学習しておくこと。
		事後学習	生活保護の仕組みについて、説明できるようにしておくこと。
第 19 回 第 20 回	社会手当制度の概要、意義と役割 児童手当、児童扶養手当など等各種の社会手当	事前学習	テキストの該当部分（第 5 章 6 節）を学習しておくこと。
		事後学習	日本の社会手当の仕組みについて、説明できるようにしておくこと。
第 21 回 第 22 回	社会福祉制度の概要、社会福祉制度の概要 社会福祉法	事前学習	テキストの該当部分（第 5 章 7 節）を学習しておくこと。
		事後学習	各分野の社会保障について、説明できるようにしておくこと。
第 23 回 第 24 回	高齢者福祉、児童福祉 障害者福祉、	事前学習	これまで学んできたことを基に時事問題を探し学習しておくこと。
		事後学習	日本の社会保障を支える財源の課題と仕組みについて、説明できるようにしておくこと。
第 25 回 第 26 回	諸外国の社会保障（スウェーデン、ドイツ、フランス） 諸外国の社会保障（イギリス、アメリカ、中国、韓国）	事前学習	テキストの該当部分（第 6 章 1 節）を学習しておくこと。
		事後学習	諸外国の社会保障制度について、説明できるようにしておくこと。
第 27 回 第 28 回	社会保障の国際比較 社会保障給付の構成	事前学習	テキストの該当部分（第 6 章 2 節）を学習しておくこと。
		事後学習	他国と比較した日本の社会保障制度の特徴について、説明できるようにしておくこと。
第 29 回 第 30 回	社会保障の国際化 社会保障のまとめ	事前学習	テキストの該当部分（第 6 章 3 節）を学習しておくこと。
		事後学習	日本における社会保険の仕組みについて、説明できるようにしておくこと。
期末試験			